

原稿募集中  
必ず掲載します

# 街かど



街かどはみなさんのページです。今までみなさんからの投稿は全部掲載してきました。しかし、みなさんの投稿がないとせつかくのす

ページもむだになってしまいます。募集するものは、短歌、俳句、写真、イラスト、川柳、詩、絵画などの作品や町に対するご意見(テーマ、内容は自由)です。また、グループの登場や「わたしとスポーツ」もよろしくお願いします。なお、匿名希望者は匿名としませんが、編集部には氏名をお知らせください。  
投稿、連絡は 黒崎町大野二 八四三 黒崎町役場企画調整課 ☎七三二〇一ーです。

## 犬の散歩 マナーを守って

匿名希望 (十八歳 奥野四区)

毎朝のことですが、我が家の前に残された犬の「落し物」にたいへん困っています。散歩中に残っていたものだろうと思うのですが、それにしても飼いの主のマナーの悪さにはほとほとあきれかえってしまいます。いつか見つけて注意しようと思っ

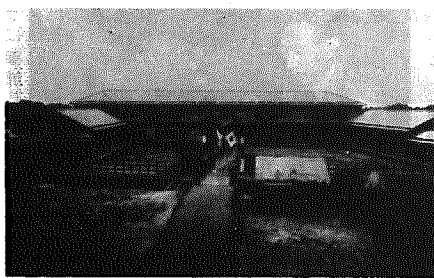
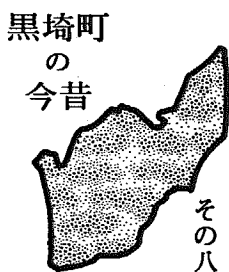
## 明治後期

### 子供たちの学校生活(二)

学校から遠い子供たちは弁当を持ってきたが、そのおかげは梅干しにこうこうかみそ漬けたまに煮豆があるぐらいだった。魚を持って来るのは裕福な家の子供か、何かめでたいことがあった時ぐらゐのものであった。

この弁当を食べ終わった後は大変で、教室中に暖まったこのうのにおいが充満して息もできないほどくさかった。  
このころ入学していた児童にはこの町の近藤友一さん、新町の田中米作さん、後の黒崎村長の富岡三作さんがいた。

明治三十九年には新町の鈴木重三郎さん、箱田勢治さん、仲町の渡辺伸吉さん、わたしの父栄一などが入学した。  
この子供たちが二年生になった明治四十年、大火が起きた。文・絵 宮田栄門



▲焼災後建てられた大野校(明治末)

十月一日であった。平次火事と呼ばれるこの火災で大野校は類焼した。  
黒崎村ではきゅうきよ当時新町裏にあった村立の伝染病隔離

つ紹介したい。  
一月元旦四方拜の日であった。避病院の尋常科の児童全員は聞念寺で行われる全校の式典に出席することになっていた。

当日朝のうちは晴天だったので、尋常科一、二年の子供たちははこかけ(定袋)にわらじをはいてみのぼしをかぶり、雪道を踏みしめながら聞念寺へ歩いて行った。式が終わるころになって急に天候が悪くなってきた。いつしか風が吹き雪が降り出しついに猛吹雪となった。  
「さあ大変」と子供たちは騒ぎ出した。金巻と興野の原は子供たちにとっては難所だった。吹雪だまりができて、わらじばきの小さい子供たちはとても歩いて帰ることができなくなりました。  
それぞれの家から親が迎えに来た。ところが鈴木重三郎さんの家からはだれも来なかった。とても一人では帰れない。みんな次々と帰って行く。いよいよ心細くなったとき、高等科へ通っている近所の田中米作さんがいた。重三郎さんは頼んで田中さんの背中におんぶしてもらった。ようやく帰ることができた。  
このように当時の子供たちはきびしい環境に囲まれた学校生活を送っていたのである。

## 短歌

### 短歌会

す。またそれを毎朝やるという。ことは、ペットである犬をかわいがっている証拠だとも思っています。でも、悪いことは悪いです。犬がふんをしてはならない所、例えば路上だとか、人の家敷内だとかにしたのなら、あるいは、そうとわかっていたのならゴミ袋と紙袋を二重にして置いて犬のそれを拾うとかするようにしたらどうですか。そうすることが飼主としての当然の義務だと私は思います。またそうしなければペットを飼う資格がないのではないのでしょうか。町からも呼びかけていただきたいと思ひます。パリのようにならないためにも是非。

わが身での長寿の種を人間わば本と書画ぞとすぐに答えん  
柏 直樹地  
しのびよる秋の気配が身を包む土用も半ば過ぎし朝は  
宮田 ミイ  
己が子と同年位の年頃と同室にして話題を賑はす  
酒井 庄平  
髪を梳く鏡の顔の亡き母にとみに似て来ぬ炎暑の朝  
金内 セツ  
半日に満たぬ奉仕をかく迄に感謝を受けて身の引き締まる  
泉井 ヨ子  
朝夕に露地の手入れにいそしみて草花で知る秋の気配を  
石川 恵美子  
風邪気味のわが枕辺に遠くより民謡流しのはやし聞ゆる  
阿部 浄子  
妙高の裾野に咲ける秋の花たそがれ迫り色の深まる  
小出 美喜子

## 俳句

塩の客帰れてもとの暮しかな  
いつまでも手を振る母や草の花  
小学校ぶどう畑の中にある  
岩見 正子  
亡き母の鎌にむいたる柿の味  
柿き食う鳥亡き児来しかと追もせず  
佐藤 キン  
白萩のこぼれて紅の秋海道  
虫一つ珍客となり酒たのし  
石川 恵美子



宗村善介さん(中学通り)が社会福祉に役立ててもらいたいと町に10万円寄付されました。

## わたしのスポーツ



暑い夏も過ぎ庭の草むらにすだく虫の声も繁くなり、スポーツの秋がやってきました。わたしは山田婦人会スポー

## 軌道に乗った夜のスポーツ教室

細川 保子 (上山田)

ツ教室も「より健康に」「より美しく」「人より一汗多く」をモットーに活動を始めるや一年がたちました。  
現在会員は四十余名。山田小学校の体育館を借用いたしました。毎週水曜日夜七時から九時までバウンドテニスを中心にやっています。  
初めたころは、ボールがどこかに飛んで行ったり、だれのボールかわからなかったりしましたが、今では体育館が狭く感じるぐらい上達しのびのびやっています。  
わたしはバウンドテニスを知ったのは広報くろさきからです。だれにでも、どこでも、無理なくできるスポーツと紹介されてきました。やりたいなと思ひました。